

選挙公報掲載文原稿用紙

目指すべきは国民の安全安心 そして未来への確かな希望

迅速かつ果敢なコロナ対策

- ★国産ワクチンや治療薬の開発を進めます。
- ★いつでも気軽に受けられるPCR検査体制を構築します。
- ★感染第6波に備え、医療機関の役割分担や宿泊療養施設の整備を進めます。
- ★疲弊した各産業にきめ細かいバックアップ策を整えます。

栃木県北部エリアの活力の創出

- ★大規模から中小零細まで、多様な担い手が共生できる経済合理性に偏らない多様な農業や酪農、林業で地域を守ります。
- ★農業者個別所得補償制度を復活させます。
- ★国の防災拠点を誘致に取り組みます。地盤が強固なエリアこそ自然災害への対応拠点として適地です。
- ★自治体の裁量で用途が決められる一括交付金を創設します。

消費者への分配なくして成長なし

- ★年収1000万円以下の所得税を時限的に免除します。
- ★消費税の5%への時限的引き下げにより、景気を支えます。
- ★法人税の累進税率や金融所得課税の導入など、超大企業や富裕層への優遇税制の是正に取り組みます。

多様性を認め合い学びあい差別のない社会へ

- ★LGBTやジェンダーギャップなど、一人一人が生きづらさを感じることはない、それぞれがあるがままに生きられる多様性ある社会を創出します。
- ★子ども子育て予算を倍増し、子ども達の学ぶ意欲を支えます。

平和を守る現実的対応

- ★日米同盟を基軸にしつつも、より多国間での外交を通し、安全保障体制の確立を目指します。
- ★唯一の被爆国として国際社会における非核化への明確な意思表明とイニシアティブを発揮します。

出口の見えないコロナ禍において私たちは世界的な価値観の変容を求められています。政治の場においても例外ではありません。自らの政権浮揚と国民の命と健康を天秤にかけてしまふ政権に代わって、今までの枠の中では太刀打ち出来ない新しい時代の要請に、果敢に対処するために、今こそ人心一新が必要です。

私達は過去の民主党政権における猛省を基に、もう一度政権交代を目指します。そして様々に疲弊する皆様を支えたい。

そのために、私はあなたの声になる。



立憲民主党

いが 央ひろし

昭和39年6月26日(57歳)

| | |
|------|--------|
| 受付番号 | 受付年月日 |
| | 年月日午時分 |

| | |
|------------|------------------------------------|
| 候補者氏名 | 伊賀 央 |
| 連絡場所及び電話番号 | 栃木県那須塩原市西大和二丁目十六番地 0287(48)7373 |



プロフィール



比例は立憲民主党へ

- 1964年(昭和39年)6月、兵庫県にて出生。立正大学経済学部卒業。衆議院議員武藤山治(足利市)公設秘書、兵庫県豊岡市議会議員(連続6期)などを経て、東京にて立憲民主党の立ち上げに参加。立憲民主党衆議院議員山崎誠公設第1秘書⇒立憲民主党栃木県連衆議院候補者公募に応募⇒栃木県連副代表、第3区総支部長に就任。
- 家族=妻:いが 純(大田原市議会議員)、実父:故・伊賀定盛(衆議院議員)、義父:故・安田範(衆議院議員)